

第8期グループCIO交流会議

第1回交流会議が終了いたしました

2013年5月30日(木) 場所：日本能率協会ビル「204研修室」

テーマ：『ビッグデータの日米最新事情・取り組み』

1. 主催者挨拶

公益社団法人企業情報化協会
専務理事 事務局長 大森 俊一

2. コーディネータ 挨拶



第8期グループCIO交流会議コーディネータ：中島 洋
株式会社MM総研 取締役所長

3. 講演① 14:20～15:10(50分)

「ビッグデータ利活用を支える最新テクノロジーと
データサイエンティスト育成・確保 ～IT協会欧米調査団より～」

講師：佐々木 宏 立教大学 経営学部 教授



－休憩(15:10～15:20)－

4. 講演② 15:20～16:10(50分)

「ビッグデータが開く企業の未来
～日米企業におけるビッグデータの実践事例～」

講師：塚本 眞一 日本アイ・ビー・エム株式会社
理事 インフォメーション・マネジメント事業部長



Buzz Session&QA 16:10～16:50(40分)

5. コーディネータによるまとめ 16:50～17:00(10分)

※情報交歓会；地下1階「すずらん」(17:10～18:20)



【事務局所感】

連日のように新聞紙上ににぎわすビッグデータ。こうした中、グループCIO会議では第1回目の話題としては最もふさわしいテーマとして、ビッグデータを取り上げました。

立教大学佐々木先生からは、今年3月にIT協会で実施した「訪米ビッグデータ研究調査団」での研究成果について、特に訪問先のアマゾンやマイクロソフトでの最新の米国事状について報告をいただきました。日本IBM塚本様からは、同社が取り組んできたビッグデータに関する豊富な事例の中から、代表的なソリューション事例を画像を交え説明をいただきました。質疑応答では、ビッグデータの応用例として今後期待される分野などについて、積極的な意見交流が展開されました。